

**生ごみ処理機には補助金の活用を!**



市では、ごみ減量化への取り組みの一環として、生ごみ処理機購入費用の一部を補助しています。

生ごみ処理機は、庭やベランダに設置してたい肥を作るものや、室内で電気を使って生ごみを乾燥させるものなどさまざまな種類があります。生ごみ処理機や補助金に関する詳細は、資源対策課へお問い合わせください。

▼対象 市内在住または市内に事業所が有り、市税および清掃手数料を滞納していない方

▼申し込み 生ごみ処理機を購入する前に、直接または電話で補助金の予約をしてください。

**7月1日から補助金を増額しています。**

**非電動式**：1申請者につき2台まで、購入額の4分の3を補助(1台分の上限2万円)  
**電動式**：1申請者につき1台のみ、購入額の4分の3を補助(上限5万円)

**生ごみをぎゅっとひと絞り**



家庭から出る燃やせるごみの約50%は生ごみです。生ごみは、約80%を水分が占めるため、「ぎゅっとひと絞り」するだけで、ごみの減量につながります。また、夏場に気になる、臭いや虫の発生も防ぐことができます。

各家庭でも生ごみの水切りを心掛け、ごみの減量にご協力をお願いします。

**2 捨てる前に絞る**

水切りネットを使うと、簡単に「ぎゅっとひと絞り」することができます。



**水切りにひと工夫!**



**1 水にぬらさない**

野菜の皮は洗う前にむき、余分な水分を含ませず、そのまま捨てましょう。



**3 乾燥させる**

水分が多い生ごみは、新聞紙の上に広げるなどして、乾燥させてから捨てましょう。



**主な生ごみ処理機**

(写真は一例です)



**乾燥型生ごみ処理機(電動式)**

数時間で生ごみを乾燥させます。処理したものは、土に混ぜて1カ月程度でたい肥にできます。

価格目安 4万円~9万円  
 補助額 上限5万円 (本体購入費の4分の3)



**EMバケツ(非電動式)**

1週間程度で生ごみを発酵させます。処理したものは、土に混ぜて数週間程度でたい肥にできます。

価格目安 3000円から  
 補助額 上限2万円 (1台につき) (本体購入費の4分の3)

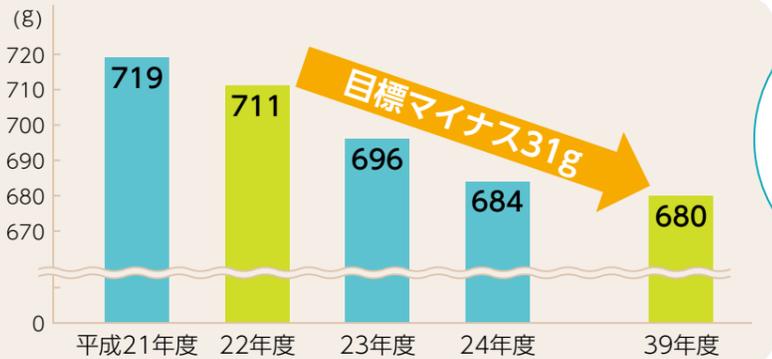


**コンポスト(非電動式)**

半年~1年かけて、たい肥を作ります。落ち葉や雑草も一緒に入れることができます。

価格目安 3000円から  
 補助額 上限2万円 (1台につき) (本体購入費の4分の3)

**●市民1人1日あたりのごみ排出量 / 単位g**



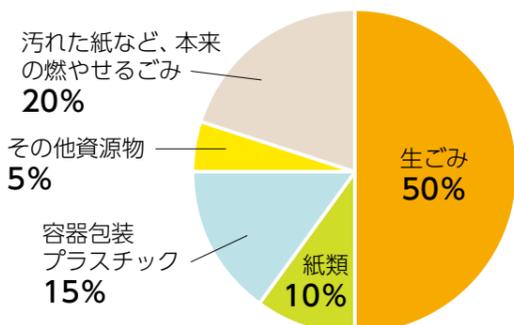
1人1日、イチゴ2個分(約31g)の減量が目標です!



**ごみの減量にご協力ください**



**●「燃やせるごみ」の内訳**



※市内17カ所のごみ集積所の平均値です。

市のごみ総処理量は年間約3万9200トで、約13億9000万円の経費がかかっています。市民1人あたりに換算すると、毎日684gのごみを出し、年間約1万8000円の処理費用を支払っていることとなります(平成24年度実績)。

市では、ごみ処理費用やごみ焼却によるCO<sub>2</sub>を削減するため、市民1人1日あたりのごみ排出量を、平成39年度末までに、22年度の排出量から「約31g(イチゴ2個分)」減量することを目標としています。皆さんのご協力をお願いします。

**生ごみ処理機 Q&A**

**Q 臭いは気にならない?**

完全に臭いが無いわけではありませんが、生ごみの水分を切ってから処理機に入れるなどの工夫で軽減することができます。電動式のものであれば、夏場でもほとんど臭い気になりません。

**Q 虫は発生しない?**

虫が発生しやすいものも、発生しにくいものもあります。電動式の乾燥型処理機であれば、虫の発生を気にせずに使うことができます。

**Q どれを買えば良いのか分からない時は?**

市役所2階エレベーター前に、生ごみ処理機を常時展示しています。平日8時30分~17時15分、第3土8時30分~12時の間は、資源対策課職員が用途や目的に応じた生ごみ処理機をご案内します。気軽にお問い合わせください。